

DAY10. Chromeの検証を試みよう + LiveServerをインストールしよう

GoogleChromeのダウンロード

#30DAYSトライアル10日目！今日でローカル開発の準備は完了します。明日からは、ローカル環境でコーディングする課題になりますので、しっかり環境整えといってくださいね👍

開発には『Google Chrome』ブラウザを使います。
もしChromeを入れてない方はこちらからダウンロードしてください。
[Chromeダウンロード](#)

Chromeの検証機能を試みよう

なぜChromeを開発で使うのかというと、**コーディングにはGoogle Chromeの検証機能が必要不可欠だから**です。

HTML/CSSのコーディングに絞っても、検証画面からデザイン変更を確認したり、:hoverや:activeなどの擬似クラスをあてた際の挙動を確認したり、レスポンス表示した際の見え方を確認したりと様々な場面で使います。

コーディングするときは検証を開いて確認しながら進めるクセをつけましょう！
サルワカの説明がわかりやすいので、こちらを見て使い方を把握してください👉

[初心者向け！Chromeの検証機能（デベロッパーツール）の使い方](#)

使い方を把握したら、次のステップを実行してみてください。

-
- ①昨日つくった『Practice』フォルダをVScodeで開く
（フォルダごとVScodeのアイコンにドラッグ&ドロップで開けます）
 - ②test.pngにホバーした際、opacity:0.7になるようcssに追記
 - ③chromeでindex.htmlを開いて検証を開く
 - ④検証画面からh1のテキストを「30DAYSトライアル 10日目達成！」に変更
 - ⑤検証画面からh1の文字色を赤に変更
 - ⑥検証画面からtest.pngのホバー時のアクションをopacity:0.1に変更
 - ⑦検証画面からiPhoneXのサイズでindex.htmlを見てみる（とりあえず見るだけでOK）
-

「LiveServer」をインストールしよう

簡易ローカルサーバーを起動できるVScodeの拡張機能「LiveServer」をインストールしましょう。

LiveServerのインストール、使い方は超簡単です！こちらを参考にどうぞ！

<https://marketplace.visualstudio.com/items?itemName=ritwickdey.LiveServer>

一言でいうとHTMLやCSSファイルの更新を勝手に検知してライブプレビューできる機能です。いちいち変更を加えたファイルを確認するときリロードする手間が省けます。

上に書いた④～⑦の変更を、今度はhtml/cssファイル上で一つずつ実行して、LiveServerの画面で勝手に変更されてることを確認してみてください。

初めて見たら感動するはず👍